

TA 愛らんど TA

四国支部 HP



No.62号

2026.1.30 発行



発行 特定非営利活動法人 日本交流分析協会 四国支部
住所 〒790-0012 愛媛県松山市湊町 8 丁目 111 番地 1 愛健ビル 3F
TEL/FAX 089-931-5570
mail info@ta-shikoku.com
URL <https://www.ta-shikoku.com/>
発行責任者 日本交流分析協会 四国支部支部長 山本寿美江

No.62号 巻頭言

「毎日がスタートライン」

四国支部支部長 山本寿美江



新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

松山での第 48 回全国年次大会 in 四国を経て、季節は秋を過ぎ冬講座の季節になってしまいました。LINE や Facebook を活用し新しい媒体での情報発信を行いました。会報発行の遅延をお詫び申し上げます。

10 月の年次大会には現地・オンデマンドを含め約 250 名に参加いただきました。開催までの運営委員や当日のスタッフの人数はお世辞にも多いとは言えず、どの担当も手一杯。現場は本当に右往左往の連続でした。しかし、大会後に頂いたメールや葉書で「本当に盛会でしたね」のお言葉を頂くと、皆様に私たちが伝えたい今回のテーマと、心ばかりのおもてなしが届いたことを心から嬉しく思います。オンライン参加の会員の皆様からも提案やアドバイス、閉会後には率直な感想を頂きました。運営委員・推進委員とも情報を共有し今後活かすべく記録しています。

この大会準備期間、また理事在任の期間を通じて、私は多くの事を学ばせていただきました。会社組織ではない NPO という組織を会費ベースで運営すること、地方という特色と利点、コロナを経て得た智恵と継続の力。その都度考えさせられ、待ったなし即断の連続でもありました。その中で人と人のつながりが徐々に鎖のように繋がり、それが輪になって広がる。そんな組織づくりを目指しました。勿論、これからも継続する支部運営の課題です。

少子化は、今や社会環境へもじわじわと影響が出てきています。学校では学級数減少、大学では統配合、会社では人材不足と AI の導入。様々に迫る切実さは協会の会員数減少もしかりです。「私らしく生きる」を追求すればするほど、個々に必要性の高いものが残り、結果、物質も時間も精査しつつ生きていかざるをえません。けれど、そこで私たちがその先の「未来」に遺していけるものは何か、何が必要かを、一人でも多くの方と探し、形にしていければと考えます。

今年協会の発足 50 周年、これから半世紀のスタートラインです。少子化の中でも耐えうる組織づくりへ、私たちが毎日がスタートライン。これからの時代をつくるのは、みなさまです。

役員改選

2026 年度理事（四国支部長兼任）改選となります

四国支部理事 山本寿美江氏の就任期間が 2 期 4 年となります。役員選任公告により 2026 年度は四国支部理事（支部長兼任）改選となり、理事候補の自薦他薦を求めます。役員選任公告は 1 月下旬発送「JTAAnews 冬季号第 49 巻 4 号」を参照ください。

立候補を考える会員は、2026 年 2 月中に四国支部までご連絡ください

会員の皆様には、併せて 2026 年度支部運営委員への立候補（自薦他薦）もお考え下さいませ。



四国支部の動き

－会議開催－（運営委員会・年次大会推進委員会 いずれも Zoom にて実施）

- 運営委員会 第2回：5/12 第3回：6/13 第4回：8/26 第5回：12/16
第6回：2026年1/21
- 年次大会推進委員会 第2回：4/7 第3回：6/13 第4回：8/29
第5回：10/6 第6回：12/26



12/16 第5回運営委員会 報告

運営委員会では、(1) 年次大会報告と推進委員会の解散 (2) 理事会報告 (3) 役員改正 (4) 2026年度支部集会 (5) 秋冬講座 (6) 広報 について報告・話し合いが行われた。

(1) 大会終了後、委員各々「大会振り返りシート」作成し、会場、オンライン、オンデマンドそれぞれを振り返った。大会後、四国支部より本部・各支部へ大会写真とお礼状を送付した。参加された他支部の方々より「あたたかい大会だった」との声を頂いた。12/26 付けで第48回全国年次大会運営委員会を解散とした。

(2) ●年次大会参加人数 244 名（交流会参加者 85 名） 年次大会収入 2,649,500 円
そのうち協力金として 339,863 円が四国支部に入金となった。

●2026年度年次大会は50周年記念事業の一環として10/10・11に東京、神田明神ホールにて開催する（担当は関東支部）。

●日本交流分析協会本部HPにも掲載の裁判は控訴審帰結し、被告側（協会）勝訴となった。この裁判を通じ、再度コンプライアンスの遵守徹底を呼び掛けるとともに、個々人ですすめたことが結果的に組織としてのルール違反や逸脱になる可能性があることをふまえ、疑問点などは協会と密に連携し慎重に進めていくことが重要と考える。

(3) 現理事兼支部長の山本寿美江氏が2期4年の任期満了を迎える。本部への役員候補者の連絡期限は3月であるため、2月中に理事候補1名補欠候補1名を選出しなければならない。役員候補者は4/1時点で75歳未満であること、四国支部では推薦人として10名必要。

(4) 5月末ごろを想定している。開催場所を四国中央市または香川で開催してはどうか。ハイブリッド開催を予定し場所等を調査中。松山からの会場を移動は、各地域でのZoom通信機器の接続操作に支部会員が慣れていくことも目的とした。

(5) 講座日程通り粛々と開催中。現在、田中事務長の立案・企画に頼る状況である。会員よりの企画要望をさらにお願したい。

(6) 公式LINE、Facebookと広報の幅を広げたが、支部会報紙の発行遅延が目立つ。現会報紙の1回あたりの内容をスリム化し年4回の発行を目指す。デジタル広報部廣地氏の主導にて、四国支部のスピーディな情報開示を行っていききたい。

2026年1/21 第6回運営委員会の議題は「四国支部理事・運営委員の選出について 等」

開催講座報告

「こころをもっと理解する」 一知ることとその難しさ

日時：2025年12月21日（日）10：00～16：00

講師：精神科医 松木邦裕先生

参加者：20名（ハイブリッド開催、オンデマンドあり）



松木邦裕先生の講演を通して、精神分析における、治療者の「態度」をいかに大切にされているかをお聞きしました。相手の気持ちを理解し、ときには質問を重ねながら関係を深めていく姿勢は、カウンセリングにも共通する部分がありますが、精神分析では特に、治療者が受け身的で中立的な立場を保ち、匿名性を重視する点が印象に残りました。治療者が自分自身の価値観や個人的な情報を前に出しすぎないことで、クライアントはより自由に感情や思いを投影でき、その転移が治療の重要な手がかりになるという説明は、とてもわかりやすかったです。

また、転移を当初は治療の妨げと考えていたフロイトが、次第にそれを治療に役立つものとして捉え直していった過程や、その考えをさらに発展させたメラニー・クラインの視点から、精神分析が臨床の積み重ねの中で深められてきた学問であることが伝わってきました。

父親転移と母親転移が治療者の性別に関係なく生じることや、二者関係と三者関係が同時に存在し、相互に影響し合うという考え方は、人の心の関係性の複雑さ人生態度を感じさせられました。

特に印象に残ったのは、面談の際にクライアントに余計な情報を与えない様に、かつ匿名性、中立性を保つ為に「夏は白いシャツ、冬は同じセーターを着用する」という先生のお話です。理論だけでなく、日常の細やかな工夫の中にも精神分析の姿勢が息づいていることを知り、精神分析とは、治療者がどのように「そこに在るか」を、ストロークを大切に作る営みなのだと、改めて実感することができました。大変、貴重な講義を頂き有難うございました。

執筆：交流分析士インストラクター 北村檀（関西支部）

2025年度 子育て支援 特別講座

やりすぎない子育て？
ちょうど良い加減？

「OK-OK」に繋がる
自己肯定感UP
魔法の声かけ

そのきっかけを
いなっち先生と
“楽しく”
学びましょう！

2025年度 子育て支援特別講座 NPO法人日本交流分析協会

「やりすぎない子育てのススメ」

【講座内容】

子どもへ期待したり、心配したり・・・、親であれば当然思うことですが、それも「やりすぎ」になると、子どもにとって大きな負担となり、自己肯定感を潰してしまう可能性があります。やりすぎず「ちょうど良い加減」で関わり、子どもの自己肯定感を育むためのヒントをおしゃべりしながら楽しく学んでいただけます。



日時：**2026年2月21日(土)**
午前**9:30～11:30**

ハイブリッド & オンデマンド 開催決定

会場：松山市男女
協同参画推進センター
視聴覚室A
愛媛県松山市
3番町6丁目4

参加費：**5,500円**

一般の方もご参加可能です。
ぜひご参加ください。

稲田 健久（いなっち先生）

産婦人科カウンセラー
アンガーマネジメントファシリテーター
アンガーマネジメント他リトレーター
アドラー流メンタルトレーナー

※教員生活24年の22年間を学級担任として、700人以上の多様な児童の子どもと保護者へ寄り添ってきた、中学校教員から保護者への子から経営者まで幅広い層に広がるマルチ講師、様々な分野で現在活躍中、
岡山コミュニケーション研修講演企画 HP：
<http://ikariadviser.com>



中学校教師24年のキャリア
思春期の子どもと親に関わり続けてきた
私だから語れるセミナー

★お申し込み方法

申込先：**zoom**受講に使用する**メールアドレス**から
お申し込みをお願いします。
送先先：**child@j-taa.org**
件名に「**子育て支援特別講座**」記入する。
本文に下記必須項目をご記入ください
①会員番号 ②氏名
③支部名 ④資格
⑤当日連絡可能な電話番号
⑥**対面・zoom・オンデマンド**を記入
※非会員の方は②・⑤・⑥をご記入ください。
申込み締切：**2026年2月12日（木）**



←こちらからも申し込みが出来ます。

★振込先

・郵便局
口座番号：00110-1-155513
口座名：NPO法人日本交流分析協会
・他の金融機関からの振り込み
銀行名：ゆうちょ銀行
店番：019
店名：ゼロイチキョウ
口座：当座預金 0155513
受取人名：トクビ ニホンコウリユウブンセキキョウ
ウカイ
※送金人のお名前「**0221 お名前**」をご記入ください。



大会開催
開催時間 18:00~21:00
特定非営利活動法人
日本文学分析協会
第48回全国年次大会
(準備)



四国支部
会場スタッフが振り返る
第48回
全国年次大会in四国
舞台ウラ写真集



編集後記： 沢山の学びと、四国の美食美酒、やりきった皆の笑顔が眩しい写真の山。

編集しながらニヤける、思い出楽しい62号でした。ほいたらね！ 四国支部デジタル広報部：廣地